

行事予定 4月/5月

月	日	曜日	行 事	時間		集合場所	参加費
4	6	土	里山保全体験(竹細工)	9:30	~ 12:00	ばじょうじ谷戸休憩舎	300/100
		日	田畑作業体験(サトイモの植付け)	13:00	~ 15:00	ばじょうじ谷戸休憩舎	300/100
		日	田畑作業体験(サトイモ年間コース・植付け)	13:00	~ 15:00	ばじょうじ谷戸休憩舎	1200/800
	7	日	春の植物観察会	9:00	~ 12:00	レストハウス2F	300/100
	7	日	ジュニアくらぶ オリエンテーション	13:00	~ 15:00	レストハウス2F	-
	13	土	春の昆虫観察会	9:00	~ 12:00	レストハウス2F	300/100
	14	日	里山保全体験(タケノコ掘り)1部	10:00	~ 12:00	ばじょうじ谷戸休憩舎	800/600
	14	日	里山保全体験(タケノコ掘り)2部	13:30	~ 15:30	ばじょうじ谷戸休憩舎	800/600
	28	日	晩春の植物観察会	9:00	~ 12:00	レストハウス2F	300/100
	28	日	ネイチャークラフト作り	10:00	~ 15:00	円形広場	500
	6	土	炭焼き(窯詰め、炭材作り)	9:00	~ 12:00	宮谷戸炭焼施設	300/100
	13	土	炭焼き(火入れ、炭焼き)	9:00	~ 17:00	宮谷戸炭焼施設	300/100
	13	土	炭焼き(火入れ、炭焼き)特別プ	9:30	~ 11:30	宮谷戸炭焼施設	300/100
5	20	土	炭焼き(窯だし、炭材作り)	9:00	~ 12:00	宮谷戸炭焼施設	300/100
	5	日	ゴールデンウィークの昆虫観察会	9:00	~ 12:00	レストハウス	300/100
	12	日	初夏の野鳥観察会	8:00	~ 11:00	レストハウス	300/100
	18	土	ジュニアくらぶ 初夏の観察会	10:00	~ 12:00	レストハウス	-
	19	日	ローザつづきく・バラまつり 模擬店(食べ物・飲み物) 体験(竹細工・綿菓子)・ネイチャークラフト	10:00	~ 14:00	円形広場	入場無料
	26	日	大池の生き物観察会	9:00	~ 12:00	レストハウス	300/100
	26	日	田畑作業体験(田植え)	12:00	~ 15:00	ばじょうじ谷戸休憩舎	300/100
	11	土	炭焼き(窯詰め、炭材作り)	9:00	~ 12:00	宮谷戸炭焼施設	300/100
	18	土	炭焼き(火入れ、炭焼き)	9:00	~ 17:00	宮谷戸炭焼施設	300/100
	25	土	炭焼き(窯だし、炭材作り)	9:00	~ 12:00	宮谷戸炭焼施設	300/100

4月 保全田畑部会 各エリア維持管理予定表		
日付	曜日	9時～12時 13時～17時
2	火	(G)堆肥、牛フン、耕運機、サトイモ準備 (B2)竹垣の補修
4	木	(H)バラ花壇、芽掻き、弱枝取り、除草、液肥 (I-①) 米作り作業一畝まき
9	火	(B3)竹林の整備、枯竹の除去
11	木	(園内)植生観察
16	火	(H)バラ花壇、芽掻き、弱枝取り、除草、消毒 (B2)竹林の整備、筍選別除去 (11:00, 30~40)
18	木	(B1)竹林の整備、竹細工の日
23	火	(A1-②)接ぎ木バラの仮地植替え (G)ジャガイモ土寄せ、芽掻き
25	木	(園内)パトロール、(I-①)部会会議 (G)サツマイモ植付け準備、(I-①)花の種まき
29	月	(B3)竹林の整備、筍選別除去

桜が咲き、新しい環境で新しい生活をスタートされた方もいると思います。どんなに寒い日が続いても季節はめぐり、さあ、春本番！！何か始めたくになりますね。

事務局



里山の声 (レストハウスで販売)

・竹炭	袋入り 180g	200円
	ばらの炭一袋	100円
・竹酢液	ろか品	2L 500円
	蒸留品	500円
	500ml	100円～
・竹細工品各種		100円

都筑中央公園はグリーンアトリックスシステムの中核となる区内最大の緑

都筑中央公園自然体験施設



令和6年4月1日 第259号

発行：特定非営利活動法人 都筑里山倶楽部 理事長 岩嶋 伸幸
〒224-0032 横浜市都筑区茅ヶ崎中央 57-8 Tel& Fax 045-941-0987

里山便り

2 SAT 田畑作業体験 ジャガイモの植付け

肌寒い日となりましたが3家族(うちひと家族は欠席) およびサポーター8名でジャガイモの植付けを行いました。
例年3～4週間ほど前に種芋を購入し用意しますが、今年はうっかり前週となってしまう危うく売り切れそうでしたが、最後の一箱「キタアカリ」(10kg)をゲットできました。



カブトムシの幼虫を取り分けた堆肥を入れて耕運機で耕した畝は前もって準備しましたが、参加者は鍬をもって約10cm深さのまっすぐな線を掘っていきます。半分にカットし灰を付けた面を下に芽の球面を上にして、35cm間隔で配置して、その間には肥料を置いて、土をかけて平らにして完了。
昨年は15kgの種芋に対してちょうど10倍の150kgの収穫でしたが、今年はどうなるやら乞御期待！(下の畑：4畝、キタアカリ半切り、8.48kg、69x2=138個、メークイン、1.73kg、22個、上の畑：1畝、メークイン、2.67kg、34個)

田畑保全部会 M.S 記

3 SAT カブトムシの越冬幼虫観察

今年は幼虫の個体数が極めて少なく、参加者人数を半数に絞らせて頂きました。事前に準備した堆肥だめ2か所に分かれ、越冬幼虫を探しました。上部の落葉をかき分け、堆肥層にたどり着くと丸々と太った幼虫が見つかり、子供達は「いたー！」と大声を上げていました。数が足りないのではと心配しましたが、参加者の皆さんには満足頂けた様でした。

調査観察部会 N.K 記



3月 里山保全体験 シイタケの植菌

このイベントは人気の行事で、今年は13家族36名の方が参加くださいました。原木栽培のシイタケは、肉厚で歯ごたえがありとても美味です。作業の説明を熱心に聞いた後、コナラのホダキを選び、木の縦の繊維方向にそってドリルで一つつつ穴を開けます。太いから良いというわけではないようです。使い慣れない大きなドリルも大人にささえられえながら、真剣に挑戦しました。ドリルで穴をあけた後、今度はその穴に「椎茸菌を培養した種駒」をハンマーで打ち込み、駒打ちした原木を温度・湿度を保持した所に置いて約2年。シイタケ菌が木全体に蔓延しホダギが完成したら、シイタケを発生させます。スーパーでしか見たことのないシイタケが木からニョキニョキ生えてくる姿を想像しながら、作業を体験し、学びになってもらえたことでしょう。

事務局 M.Y記



ジュニアくらぶ観察 令和5年度最後のジュニア倶楽部の定例会 コウゾの皮から作る紙漉き



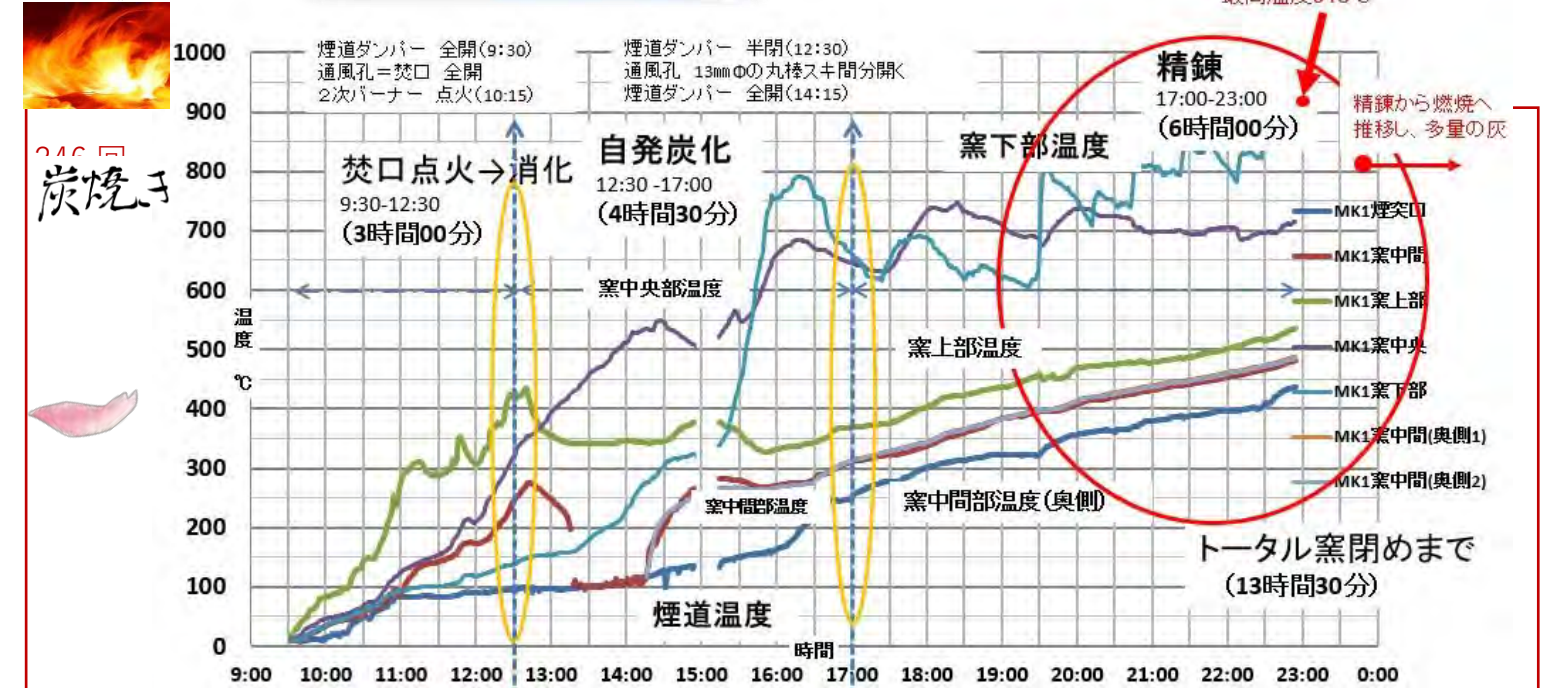
倶楽部が始まった頃はエリア51に多くのヒメコウゾが自生しており、その皮を使って紙漉きを始めたのが始まりです。今はエリア51の植生が変わり、自生するヒメコウゾはありませんが、紙漉きはとても楽しいので続けられています。何より木の皮から紙が作られることを実体験できるのですから。

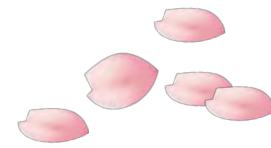
とはいえ、最初から紙を作るのは意外と大変です。木の皮を剥いで、皮の繊維をボロボロにほぐすため、ひたすら小槌やハンマーで叩きます。この工程が不十分だと繊維がバラバラにならず、漉いた紙がデコボコの不均質な紙となります。大人に助けられながら叩きを進め、な



例年、3月とはいえ気温はまだ高くないので、水の中に手を入れて行う紙漉きは我慢が必要ですが、今年は暖かくあまり辛さを感じることなく紙漉きができました。こんなところにも温暖化が感じられるようになってしまいました。

今年度の最後の活動でしたので、1年間、いろんなイベントに参加して経験値ポイントを集めてくれたメンバーにたくさんのバッチを渡すことができました。これからも積極的に参加して経験値ポイントを集めてスキルをアップグ





9 日窯入れ

2 3 日窯出し

